

平成 27 年度・市民フォーラム「ごみについて徹底討論しよう!!」

—持続可能な社会を将来世代につなぐために—

in 第 26 回 廃棄物資源循環学会研究発表会

平成 27 年 9 月 2 日 (水) 第 26 回廃棄物資源循環学会研究発表会に併設して、市民フォーラム「ごみについて徹底討論しよう!!」と題した討論会(九州大学伊都キャンパス・センター2 号館 2108 教室)を、参加者約 80名を得て実施しました。

討論会は、当学会九州支部の染谷孝副支部長の挨拶に始まり、当学会消費者市民研究部会の山川肇代表から、市民との連携状況についての紹介がありました。そのあと、テーマ「九州地域における廃棄物・資源循環関連の市民活動」のもとに、次の方々からの事例紹介及び意見交換を行いました。

- ❶ (特非)伊万里はちがめプラン:福田俊明 (理事長)
- ❷ (特非)フードバンク北九州ライフアゲイン:原田昌樹(代表)
- ❸ (特非)エコネットふくおか:真島泰子(環境カウンセラー)
- ❹ (特非)はかた夢松原の会:須本恭雄(副理事長)
- ❺ 環境たくみの会:松竹恵里子(会長)
- ❻ (特非)循環生活研究所:たいら由以子(理事長)

料飲店及び旅館からの生ごみを長期間の発酵熟成による良質な堆肥生産・活用、品質や安全性に問題のない食品ロスを活用するフードバンク事業、堆肥化からリユース食器貸し出しまでの多岐にわたる活動、博多湾に松を植え続ける運動と環境実践を学ぶ環境実践大学、地域環境サポーター養成講座を終了した方々の団体集合体が行う環境講座、ダンボールコンポストの堆肥作りを長年普及・研究している活動が事例として紹介されて活発な意見交換が行われました。

